

The High Pressure Gas Safety Institute of Japan



特別民間法人

高压ガス保安協会

The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

私たち高圧ガス保安協会（KHK）は、1963年に設立されて以来、高圧ガスによる災害の防止のための活動と、自主保安の推進に全力を傾けてきました。

産業における高圧ガス利活用の定着と成熟化、近年の技術進歩、事業者の皆様と行政の懸け橋となり、自主保安を推進し、産業経済に貢献するため、私たちの目指すべき方向性を「パーパス・ミッション・バリュー」として決めました。

パーパス

私たちは、自主保安の旗手として、健全なる挑戦をし続け、社会からの信頼を糧に、産業経済を牽引します。

ミッション

- 国内外の技術開発や社会変化に迅速に対応し、高圧ガスの保安に貢献します。
- 制度インフラの積極的かつ適時適切な整備・普及・定着と国際的な調和を行います。
- 組織を支える保安人財を育成します。

バリュー

- **公正性** 独立した第三者機関であることを自覚し、公共の安全確保を念頭に、公正不偏な業務を行います。
- **専門性** 1人ひとりが高度な知識と経験を持つプロフェッショナルとして研鑽し続けます。
- **チャレンジ** 産業社会の発展に伴い生じる新たな課題に対し、積極的に挑戦します。
- **スピード** 産業社会の発展に呼応するよう迅速かつ確実に業務を行います。
- **全員参加** 産業社会のニーズに、ダイバーシティの尊重とチームワークで柔軟に対応します。

経済・社会・生活の 安全・安心の持続のために

特別民間法人高圧ガス保安協会は、高圧ガスによる災害の防止に資するため、高圧ガスの保安に関する調査、研究、指導、検査等の業務を行うことを目的として、高圧ガス保安法に基づき設立された高圧ガス保安の専門機関です。

当協会では、高圧ガス設備・容器等の検査、国家試験・資格講習等の法定業務や事故調査、技術基準の策定、ISO認証、更には海外との技術協力など高圧ガス保安に関係する各種事業を、1963年の創設以来培ってきた技術知見を基に、公正かつ迅速な業務運営を旨として、幅広く展開してきました。

もとより、当協会は、国民の暮らしを守る安全・安心のために、高圧ガスによる災害の防止、自主保安活動の促進、LPガスに係る消費者の保安確保、企業マネジメントシステムの高度化などの各種業務を、公正で質の高いサービスとして総合的に提供し皆様のニーズに対応した事業を進めていくことがその使命であると認識しております。

当協会は民間法人化 40 周年を節目に、あるべき姿を再度見つめ直すため、パーパス（当協会の存在目的）、ミッション（当協会の目指すべき姿）、バリュー（職員のあるべき姿）を定めました。当協会はパーパス、ミッション、バリューに基づいて、産業・社会に対して更なる貢献を行って参ります。従来の業務だけでなく、カーボンニュートラルや水素社会の実現等、時代のニーズにも積極的に寄与していく所存です。

今後とも、会員、関係業界の皆様の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



特別民間法人
高圧ガス保安協会
会長 加藤 洋一



技術基準 (KHK Standards) の作成

高圧ガスの製造、販売、消費、移動など、高圧ガスの取り扱いに関する保安の確保と自主保安活動の促進に必要な技術基準を作成しています。

- 制定した基準のうち35基準は法令等を補完する形で国が活用
- 高圧ガスの保安に関する技術的事項について経済産業大臣に意見具申



高圧ガス保安法に基づく検査・認定

高圧ガスの設備・容器等の安全性の確認や事業者の保安管理体制に係る認定調査等を行っています。

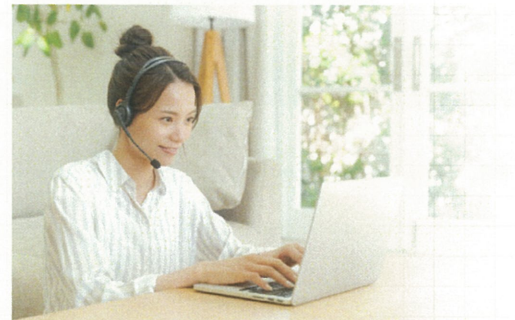
- 貯槽類、熱交換器、圧縮機、冷凍装置の検査
- 容器、容器バルブの検査
- 液化石油ガス警報器、一酸化炭素警報器等の検定
- コンビナート事業者等の認定調査、耐震補強の評価



国家試験、法定資格講習

高圧ガス保安法及び液化石油ガス法に基づく国家試験を全国で実施するとともに、資格講習や資格取得後に必要となる法定義務講習のほか、各種保安セミナー等を行っています。

- 12種類の国家試験
- オンラインによる講習・セミナー
- 出張講習
- 法規集、講習テキスト、KHK Standards等の書籍類の販売



高圧ガス・LPガス事故調査・情報提供、国際活動

国内外で発生した高圧ガス事故の情報収集・分析を行うとともに、迅速な情報発信に努めています。また、国内のみならず、海外からの相談や海外機関との連携の窓口としての支援活動も行っています。

- 高圧ガス・LPガス事故関係
- 国際活動関係

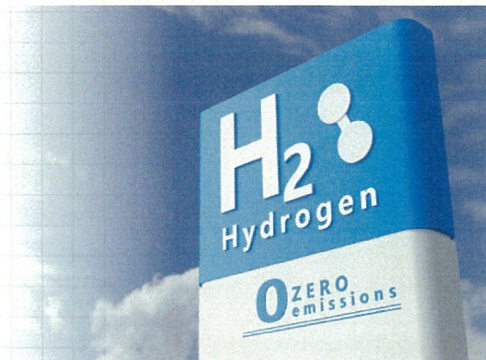




水素の社会実装の実現に向けて

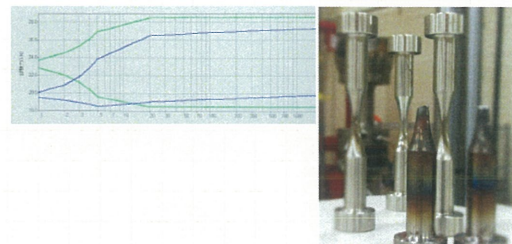
燃焼時にCO₂(二酸化炭素)を排出しない脱炭素燃料として期待される水素が重要な役割を担うことを見据え、安全・安心な水素の社会実装の実現のための取り組みを行っています。

- 水素関連技術基準の策定
- 水素、アンモニア関係団体等への参画、連携強化
- 水素の普及促進に向けた新規サービスの提供
- 水素関連の情報発信
- 水素関連の海外動向、国際基準の調査



保安の高度化に向けた研究開発と依頼試験

総合研究所(東京都町田市)では、各種材料の基礎データの蓄積を図るとともに、圧力容器の疲労サイクル試験など、国や民間企業・団体からの依頼試験等を行っています。



マネジメントシステム認証(審査登録)

検査・認定業務等の経験・知見と幅広い技術力を生かし、各種ISOマネジメントシステムの認証業務を行っています。また、受審企業を対象に支援機関との連携による各種イベント、セミナー、機関誌等を提供しています。



- 品質(ISO9001)
- 医療機器品質(ISO13485)
- 環境(ISO14001)
- 食品安全(ISO22000)
- 労働安全衛生(ISO45001)



協会の会員制度・その他

- 入会のご案内、手続き
- 月刊機関誌『高圧ガス』の定期購読



※詳細は以下をご参照ください。



高圧ガス保安協会
ホームページ

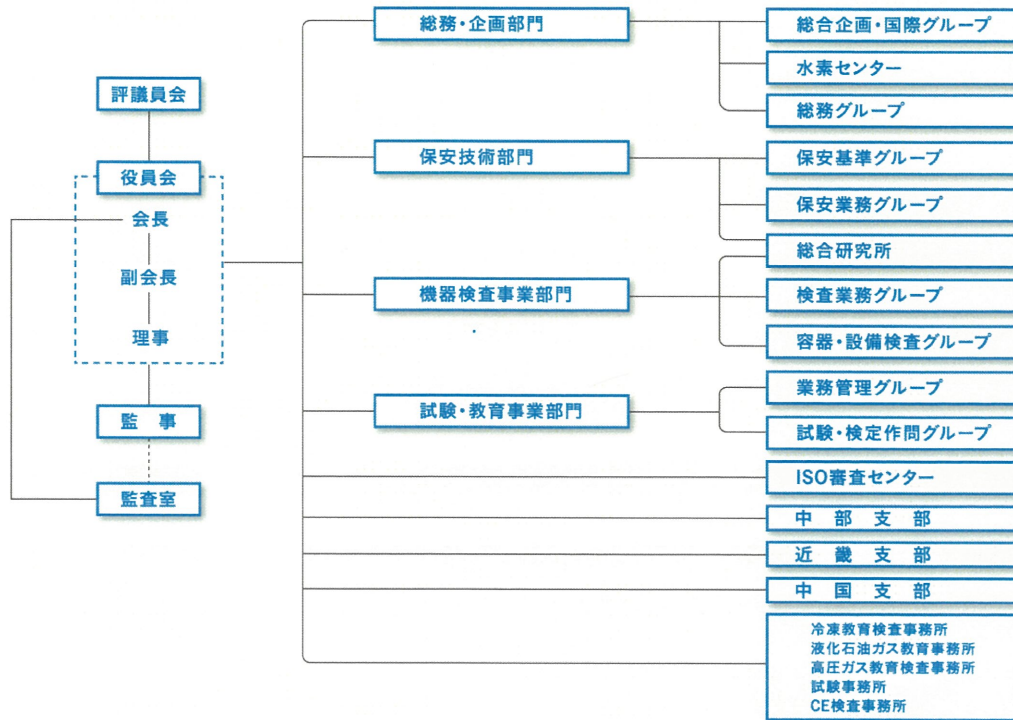


ISO審査センター
ホームページ



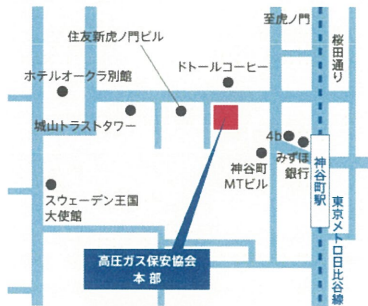
お問合せページ

Organization Chart



Locations

1 本部



東京メトロ日比谷線「神谷町駅」4b出口より徒歩2分
(神谷町MTビル出口もご利用になれます。)

〒105-8447
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル11F
Tel.03-3436-6100(代表) Fax.03-3436-5704

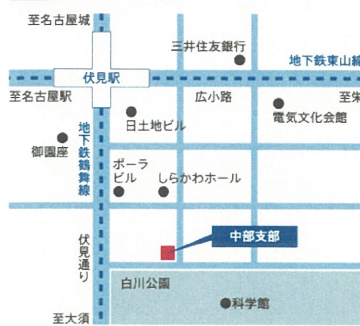
2 総合研究所



JR横浜線「町田駅」または小田急小田原線「町田駅」
バス：西口バスセンター3番のりば(神奈川中央交通)
●町32 境川園地経由 小山田坂台行き ●町33 境川園地経由 下山崎行き
●町34 市民病院経由 小山田坂台行き ●町66 市民病院経由 下山崎行き
「町田工業高校前」より徒歩約1分 「山崎小学校前」より徒歩約3分

〒194-0035
東京都町田市忠生2-16-4
Tel.042-793-1033 Fax.042-792-7058

3 中部支部



地下鉄東山線・地下鉄鶴舞線「伏見駅」5番出口より徒歩約5分

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄2-10-19
名古屋商工会議所ビル8F
Tel.052-221-8730 Fax.052-204-1308

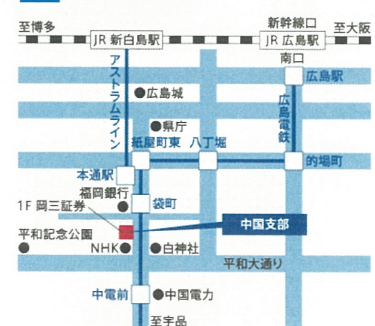
4 近畿支部



大阪メトロ谷町線・大阪メトロ堺筋線「南森町駅」、
JR東西線「大阪天満宮駅」2番出口より徒歩約1分

〒530-0054
大阪府大阪市北区南森町1-4-19
サウスホレストビル7F
Tel.06-6312-4051 Fax.06-6312-1437

5 中国支部



市内バス：広島駅南口1番のりば 観音方面行き、2番のりば 宇品方面行き
「袋町」バス停より徒歩約1分
市内電車：「広島駅」より紙屋町経由由広島行き「袋町」より徒歩約1分
アストラムライン「本通駅」徒歩5分

〒730-0051
広島県広島市中区大手町2-8-4
パークサイドビル7F
Tel.082-243-8016 Fax.082-243-8034